



第四章  
資料



# アンケート用紙

令和6年3月10日

## 第34回東京都平和の日記念行事アンケート

本日の東京都平和の日記念行事について、アンケートにご協力ください。

■ 3月10日が東京都平和の日であることについて

- a. 知っていた      b. 知らなかった

■ 記念行事への参加回数について

- a. 初めて      b. 2～10回      c. 11～20回      d. 21回以上

■ 本日の記念行事について

1 「記念式典」についてご感想をお聞かせください。

- a. 大変良かった      b. 良かった      c. 普通      d. 悪い

(ご意見: \_\_\_\_\_)

2 第二部「記念演奏」についてご感想をお聞かせください。

- a. 大変良かった      b. 良かった      c. 普通      d. 悪い

(ご意見: \_\_\_\_\_)

3 今後の「東京都平和の日記念行事」についてお聞かせください。

a. 「記念式典」のみでよい(その理由: \_\_\_\_\_)

b. 「記念式典」と「記念演奏」を行う(その理由: \_\_\_\_\_)

c. その他 ( \_\_\_\_\_ )

4 この行事を何でお知りになりましたか。

a. 広報東京都      b. 東京都のホームページ      c. 知人から聞いて

d. SNS (X (旧 Twitter) 等)      e. その他 ( \_\_\_\_\_ )

■ その他ご意見ご感想をお聞かせください。

[ \_\_\_\_\_ ]

お歳: \_\_\_\_\_ 代

お住まい: \_\_\_\_\_ 区・市・町・村

ご協力ありがとうございました。

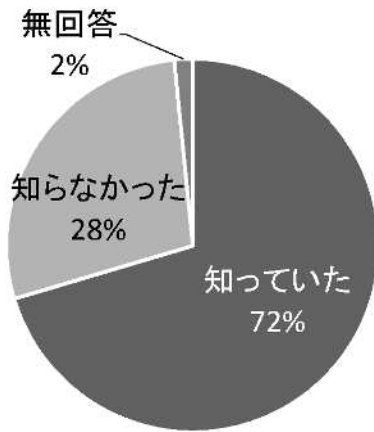
東京都

# アンケート集計結果

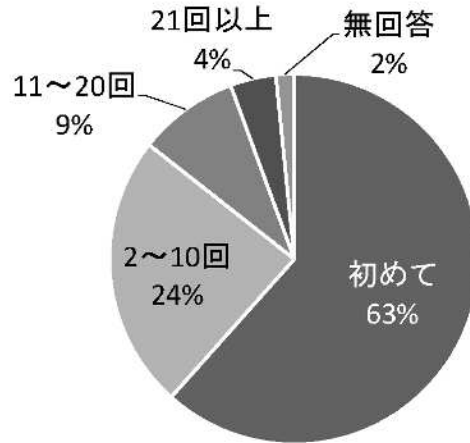


回答数：125

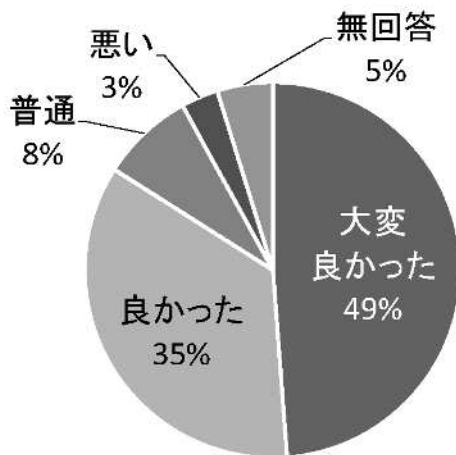
3月10日が東京都平和の日である事について



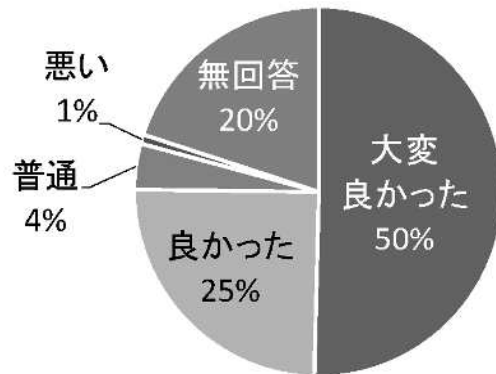
記念行事への参加回数について



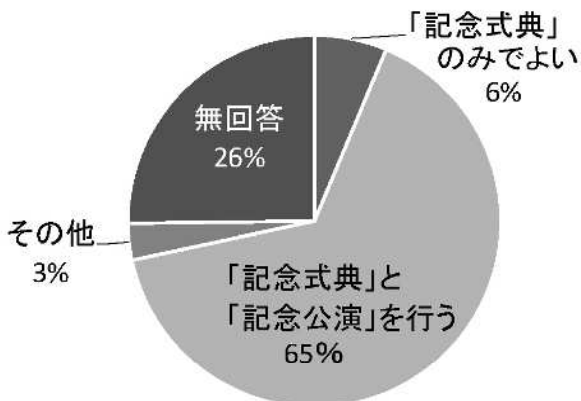
第一部「記念式典」について



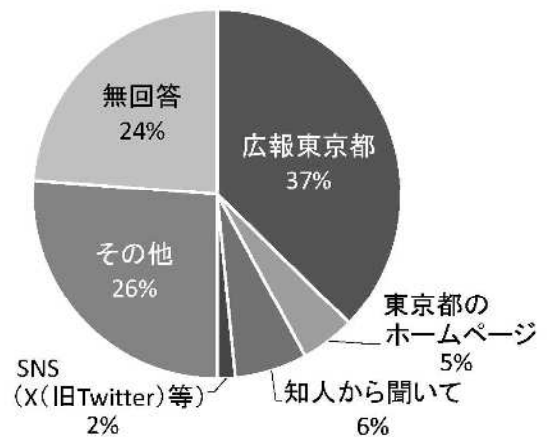
第二部「記念公演」について



今後の「東京都平和の日記念行事」について



この行事を何で知りましたか

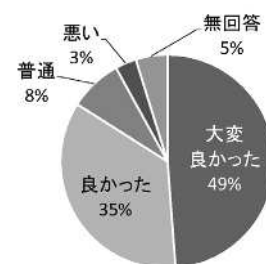


# アンケート集計結果（自由意見）

## 自由意見

### 1. 第一部「記念式典」についてご感想をお聞かせください

- We fully support the commemoration of the 34th Tokyo Metropolitan Peace Day and the celebration of the Memorial Ceremony.
- 皆様のお話、特に体験者のお話が心に入りました。
- 平和の心意識を知った国連と日本ももっともっと近づき働きかけをすべきと思っている。
- 特に戦争経験者の方のお話は衝撃的でした。
- 来賓のあいさつがお二人とも大変良かった。
- 毎年体験者の方のお話を聞くのを楽しみにしています。
- 戦争の恐ろしさを知った。
- 被災者の方のお話は今後もできる限り続けて行ってほしい。
- 当時、実際体験した人の話を訊くのは貴重な時間。真に迫っている。
- 戦争経験者の島津さんの話が大変貴重だった。
- 戦争を体験している人がどんどん減っているのだと思った。
- この式典を挙げるに当たり多くのスタッフ(若者)がかかわったこと。
- 被災者代表の方のお話は生々しくとても良かった。
- 戦争経験のお話をもっと聞きたかったです。
- 島津好江様のお話は大変興味深く良かったです。
- 戦争当時の体験談大変良く分かり、もっと聞きたかった。
- 君が代の斉唱があったこと。
- もう少し実体験のお話を聞きたかった。経験者の話をもっと必要である。
- 戦争なしの世界1人1人が意識する。良い式典でした。
- 被災者の話が生々しく、貴重に思いました。
- 90歳の方のお話が良かった。
- 体験者の話がとても感銘を受けた。
- 私の移住する西東京市に近い場所での出来事について知れて良かったです。
- もっと経験者の話を聞いても良いと思った。
- 島津好江さんの話が大変素晴らしかった。もっとお話を聞いていたかった。90歳であればどしっか記憶されていてお話を語れることがすごい事です。
- 大使の話はいつもとても良い。被災者の島津さんのお話を最後まで聞きたかった。
- 整然と行われ大変良かった。
- 通訳者の度重なる翻訳、後方席の関係者達の式典を軽んじる発言、態度、やらされた感だけで不愉快
- あいさつが悪い
- サンマリノ、カデロ大使の話しが感銘を受けた。

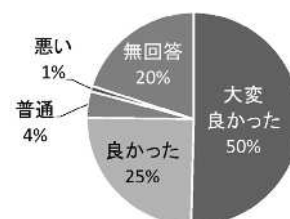


## アンケート集計結果（自由意見）



### 2. 第二部「記念演奏」についてご感想をお聞かせください

- わかりやすい曲も入れてくださって嬉しかったです。
- 室内楽の音色がすばらしかったです。都響の皆様へありがとうとお伝え下さい。
- 演奏は心が豊かに。感動する。できれば次世代へ伝えたいし体験は大切である。
- 生演奏が聞けて、平和を実感することができました。
- いつも期待通りです。
- 改めて平和の有難さを感じます。
- 式典に大変ふさわしい演奏でした。
- 機会がないので明るい気持ちになりました。これからもよろしくお願いします。選曲が良かったです。「ふるさと」etc日頃親しくしている曲なのです。
- 聞きやすい選曲で楽しめました。
- 心がとても和みました。
- 選曲の妙もあり、感動（「ふるさと」には思い入れ有）
- 武器ではなく楽器をもつということの意義について考えさせられた。
- 美しい音色が心に響きました。
- 演奏は亡くなった人をいたみ、来場者をなぐさめる。
- ありがとうございます。心があられました。
- 都響はとてもよかった。曲紹介も良かった。
- 美しい音色であった。
- 演奏そのものは良いが、平和記念（東京大空襲）の日にわざわざチョイスする曲とは思えない。無関係すぎる。
- 素晴らしい演奏だった。
- 歌がなかったのが残念。
- いらない。被災者のお話の方が重要
- 帰ってしまい申し訳ありません。



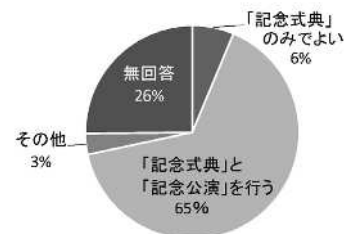
### 3. 今後の「東京都平和の日記念行事」についてお聞かせください

#### a 「記念式典」のみでよい

- Learn more about the victims.
- 大変よろしいと思います。
- 時間が長くなるのでメインは体験者の話が良い。音楽は別で楽しみたい。空襲でバラバラになった兵隊の話のあとに春らしい曲を聴くのはチグハグすぎる。

#### b 「記念式典」と「記念演奏」を行う

- very well organized thoughtful selection of music
- It will have a big impact to the attendees.





## アンケート集計結果（自由意見）

- 音楽で亡くなっていった方々のせめてもの鎮魂
- 記念演奏は楽しみです。
- 体験者の悲しい話と美しい音楽でより平和な今を感じることができるから。
- 楽しいから
- 体験者の生々しいお話が聞いて良かった。演奏も素晴らしかった。
- 式典だけでは味気ない。
- 記念演奏は素晴らしかった。心安らぐ。すぐ去るのはあまりにもあつけない。
- 必用なものは必要
- つらい体験談の後癒される。
- 家族家屋を失わない、やむなく地方、遠方に住み、その思いをぬぐいさるためにもあった方が良い。
- 気持ちが前向きになります。
- 音楽に触れあい気持ちが若返る。
- 良かったと思います。
- やはり音楽の力は心に響く。高齢になり今日が最後かと参加させていただきました。これからも平和への願いを続けてください。
- 心がおだやかになる。
- これからもずっと平和が続きますように。
- 慰霊
- 式典だけではさびしい。
- 式典と演奏を希望する。
- やはり簡単なコンサート〇〇には必要です。
- 都交響楽団は素晴らしいので毎回聴きたい。
- 都の楽団の演奏を聴く機会がないから。
- 参加しやすい構成である。
- 参加者を増やすため
- たのしみである。
- 音楽を聴くと心が和むから
- 毎回心が癒される。
- 物足りない(今回は)
- 音楽はあった方が良い。
- 外国の戦争を直ぐに終わらせる様な実行性を持ったらと願います。

### c その他

- セミオーケストラを希望
- もっと経験者の話を聞くのはいかがでしょうか。何人かのお話を伺いたいと思いました。椅子に座ったまま、お話を語っていただきたいです。
- これならやらない方がいい。

## アンケート集計結果（自由意見）



### ■その他意見、感想

■ congratulations

■ A lot to take home from Japan's sustained recognition and respect for the lost lives and every encouragement for peace , globally.

■ すばらしい機会、戦争を忘れてはいけないと思う一日でありました。ずっと続けていただきたく願っております。戦争によって、生命を奪われる、全てを失われることは許されないと思います。現在、国連の活動を応援しております。全てのジェンダー平等と全ての人に教育を、平和を願っております。

■ 戦争と平和について心と体で感じた。日本人として国連にもっと協力し働きかけ早く常任理事国となり、地球へ平和と愛を送りたいと願っている。

私の友人も国連の仕事をしているので交流し努力中である。東京都しか出来ない国連との交流を考えて欲しい。平和について、地球、世界の人類へその声を強く伝えてほしい。東京都～国連の結び付きを大にしたら必ず世界へ響くと考えている。これは東京都の地球的使命である。常任理事国でその声を世界へ。国際学を学んだ者の願いである。このような機会は貴重ですから是非多くの方に聞いて欲しい内容でした。

■ 第一庁舎を目指して来まして(新宿駅 JR 西口から)第一庁舎の入り口が分かりにくく、広場や展望台に行く辺りのドアは開かず、役所の方が一人でも案内に立って頂けるとありがたかったです。(北口へ廻るように)

■ 去年は仕事で来られず、父のみ参加した。今年は二人で来ることができて嬉しかった。

■ コロナも終わったので、コンサートは昔のようにフルオケで次回からはお願いします。

■ 国歌を歌うのは遠慮した。

■ S20.3.10東京空襲にて親族、家屋を全て失い、やむなく地方に住むことになったが、やっとの思いで参加出来たことは感慨深い思いであります。東京都に3月10日を平和の日としてくださったことを感謝申候です。

■ 私は6才で3/10未明に東京大空襲に見舞われ過日東京芸術劇場で資料展を拝見しました。体験された方も少なくなり戦争について後世にぜひ伝えてほしいと願っています。「平和の日」に制定され嬉しいです。戦争によって建物は再生できますが、肉親は戻りません。こんな悲しいことはありません。お骨折りが難うございます。様々な思いに時に涙が出ました。(追)戦後の生涯を思うと一夜にして家は焼けその後の生涯は大変でしたが(私たちの親世代)今日元気に年を重ねることに感謝して過ごしています。

■ 普段は入れない都の部屋での展示物も良かったです。

■ 記念式典の発言者の中で空襲時の実体験の話が出ましたが、もう何人かの人の実体験を聞くことができたらとも思いました。

■ 20年近く、都内に在学、在勤しておりましたが、3/10が東京都平和の日であることを知りませんでした。自分自身が平和に対する意識が低かったのか、と改めて気づきました。

■ 被災者代表の方のお話を打ち切ることなくきちんと拝聴すべきかと。

■ 座席は自由席に。早く来て端っこに座らせられた。不満かつ不公平

■ 空襲地の現在を知りたいと思います。

■ 世界中が平和に過ごす為に会話があってほしい。



## アンケート集計結果（自由意見）

- 東京都平和の日はとても大切なことだと思います。第二次世界大戦において、「君が代」のことをよく思わない人もいる中でこのような式典の中であったのは、残念なことだと思います。まだ私の親の世代はもちろん、戦争の悲しみはいえていないのです。せっかく、すばらしい企画の式典なので検討していただきたいと思いました。
- 空襲経験者からの体験談のみでなく今後の若い人達にどのように伝えていかななくてはならないのか本腰を入れて検討してもらいたい。
- 席が狭苦しく、苦痛な時間でした。空席が多かったのにつめる必要があったのかな？式典は良かったです。特に島津様のお話は解りやすかったです。コンサートは戦争かが少なく淋しかったです。曲は良かったです。
- 被災者代表の方は選考ミスだと思います。
- トイレから出るとき、出口が分かりづらい。何かの人に出口が分からないと言っていた。矢印で、出口の方向を示したものが必要と思われる。
- 全般的にマイクの聞きにくいところがありました。
- もっと多くの人にアピールできるような、多くの人に参加してくれるような形にしたいですね。おまんじゅうでも配ればいいのに。
- 島津好江さんの貴重な経験を聞いてよかった。
- 空襲被災者代表の島津さんのお話を聞き戦争中の恐ろしい場面を知る。大変感動もいたしました。平和な世界であってほしい。
- 受付がスムーズで良かったです。遺族ですが久しぶりに参加できました。
- 2部は必要
- 武蔵野市(中島飛行機武蔵製作所)の体験者の方のおはなしをもっと聞きたかった。
- お祈りができて良かったです。体験談を聞いて大変良かったです。
- 記念式典は大切なことです。継続してください。音楽も楽しいです。
- 毎年思いますが戦争体験をされた方のお話を聞くことができるのはとても貴重です。今の日本は先人に比べたら平和で十分豊かだと思いますよ。ムダやバラマキはやめて、かつての方がこれほど苦労された経緯をしっかりと学校で学ばせるべきだと思います。手当だけではだめです。日本人は知らないことが多すぎて国がダメになっていくと思います。
- 早めにとろうと思いましたが席が決まっていることに驚いた。咳、花粉症になり迷惑がかかり、今後自由席でお願いいたします。
- 祖父母の犠牲者名簿への届け出ができて良かったと思います。記念式典に参加できて感謝しております。
- 年々、来場者数が減っているのがさびしい。毎年開催して下さりありがとうございます。
- 関係者達は式典の意味を理解できないのなら止めたほうがいい。ひどすぎる。
- 資料館が展示するためにインタビューを受けてくださった方々の話が見て聞けたことが一番良かったです。一日も早く資料館を開いてください。駐日外交団長のあいさつは亡くなった方々に失礼です！
- 夫が亡くなり3年が経ちました。夫と共に出席しているつもりです。いつまで出席できるか分かりませんが皆様色々ありがとうございました。
- 空襲で生き残った方のお話をもっと聞きたかったです。



## 東京都平和の日条例

平成二年七月二十日  
東京都条例第九十号

東京は、今や、世界の経済社会の発展を支える大都市としての地位を占めるに至った。これは、東京の地に住み、働いてきた人々の努力の賜物である。

しかし、東京の歴史には、幾多の惨禍が刻まれている。特に、多数の都民が犠牲となった第二次世界大戦の悲惨を我々は忘れることができない。

平和は、都民すべての願いである。

東京都は、平和国家日本の首都として、世界の都市と連携し、文化交流等の推進に努め、人々の相互理解に立脚した国際秩序の形成と恒久平和の実現に貢献する責務を深く認識し、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓い、ここに、東京都平和の日を定める。

### (平和の日)

第一条 東京都平和の日は、三月十日とする。

### (記念行事)

第二条 東京都は、東京都平和の日に、平和の意義を確認し、平和意識の高揚を図るため、記念行事を実施する。

### (委任)

第三条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

### 附 則

この条例は、公布の日から施行する。

## Tokyo Metropolitan Peace Day Ordinance

Tokyo has now become one of the major cities to support the development of the world economy and society. This result can be attributed to its residents, who have lived and worked diligently in Tokyo. However, Tokyo recorded many disasters in its history. Of these, we will never be able to forget tragedies experienced during World War II when many Tokyo residents fell victim.

Peace is the very wish of all of Tokyo's residents.

The Metropolis of Tokyo, as the capital of peaceful nation of Japan, has decided to promote cultural exchanges in cooperation with the cities of the world. Tokyo recognizes responsibility for devoting itself to forming an international order based on mutual understanding and achieving eternal peace. Tokyo takes an oath never to repeat the horrors of war. Therefore, the Metropolis of Tokyo does hereby enact the Tokyo Metropolitan Peace Day.

(The Peace Day)

Article 1 The Tokyo Metropolitan Peace Day shall be on March 10th.

(Commemorative events)

Article 2 In order to confirm the significance of peace and to promote peace-consciousness, the Metropolis of Tokyo will carry out commemorative events on the Tokyo Metropolitan Peace Day.

(Delegation)

Article 3 Necessary matters related to the enforcement of this ordinance shall be fixed by regulation.

Supplementary provision

This ordinance shall come into force from the day of its promulgation.

Promulgated July 20, 1990

Tokyo Metropolitan Ordinance No.90

## 東京都民平和アピール

一九四五年三月十日、五十年前の今日、東京は大空襲によって、いたるところ焼け野原と化し、一夜にして十万人のかけがえのない尊い命が失われました。

同じく五十年前、広島と長崎の原子爆弾は、人類がいまだかつて知らなかった悲劇を地上に現出させました。

いかなる哀悼の言葉も意味を失ってしまうほど非情かつ残酷なもの、それが戦争のもたらすあらゆる惨禍であり災害であります。

そして半世紀がたちました。戦争を知らない人々が、都民の多数を占める時代がきました。東京の姿は一変しました。廃墟だったまちには、活動力にみちた大都市に変貌しました。それは、日本が平和のもとにあつたからこそ実現できたものでした。

世界の相互依存関係がかつてないほど緊密になり、互いの協力が必要です。必要とされる現在、私たちは世界全体の平和なくして、幸せて安全な暮らしを営むことはできません。

いま世界は、激動の中にあつて、大きな歴史の転換の時代を迎えています。民族や宗教の対立などに起因する悲惨な地域紛争、飢餓と貧困、難民と被災者、地球環境の破壊と悪化をはじめ、人々の穏やかで満ち足りた生活をはばむ要因が、次から次に生じています。不信と対立を克服し、信頼と協調による新たな国際秩序を模索することは、地球全体にとつて緊急な課題であり続けています。国、民族、文化の違いをこえた取り組みが、今ほど求められている時はありません。

平和は、何ものにもまさつてすべての基礎をなす条件です。日本国憲法が基本理念とする恒久の平和は、私たちすべての願いであり、人類共通の目標です。

私たちは、軍縮と核兵器の廃絶を機会あるごとに強く訴え、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓います。日々の生活において、平和を脅かす問題に、毅然として立ち向かい、忍耐よく取り組むことを決意します。

- 一 私たちは、次代を担う子どもたちに、戦争の悲惨さと、それを防止することの大切さを、東京大空襲の体験などとともに語り伝えます。
- 一 私たちは、共に地上に生きるすべての人の人権を尊重し、差別を排し、思いやりと愛情をもって、誇るに足る地域社会をつくります。
- 一 私たちは、日々のくらしを注意深く見つめ、豊かな水と緑の地球環境を守ります。
- 一 私たちは、地球社会の一員として、世界の人々と交流し、相互の信頼を深め、協力連帯して、人類の福祉の向上に努めます。
- 一 私たちは、過去の歴史をかえりみて、ともに手を携えて平和な世界をつくり、相ついでやって来る新しい世代に引き継いでゆきます。

第五回東京都平和の日記念式典にあたり、私たちは、参加者の総意としてこのアピールを採択し、誓いも新たに、平和を心から願う気持ちと決意を、全世界の人々に訴えます。

一九九五年三月十日 東京都

### An Appeal for Peace by the Citizens of Tokyo

Fifty years ago today, on March 10<sup>th</sup> 1945 Tokyo was reduced to ashes and a hundred thousand precious lives were lost overnight due to a large-scale air raid.

The same year, the dropping of atomic bombs in Hiroshima and Nagasaki revealed a tragedy never previously known to human beings.

The nature of various horrors and disasters brought forth by war is so cruel that no words of condolence are enough.

Half a century has passed since then. Most of today's citizens of Tokyo don't know the war. The city of Tokyo underwent a tremendous change. Once in ruins, Tokyo is now a metropolis full of energy and spirits. This became possible only because Japan has been at peace for the past fifty years.

Today, when global interdependence is stronger than ever and cooperation increasingly necessary, we cannot seek a safe and happy life without world peace.

In the midst of turbulence, the world today is approaching an era of great change in history. Conflicts caused by antagonisms between different ethnic groups and religions, hunger and poverty, refugees and victims, deterioration and destruction of the environment—these are only a few of many factors in today's world which endanger people's calm and fulfilling lives. To overcome distrust and antagonism and to seek a new international order is an urgent agenda of the entire world. Never before was it necessary to deal with this agenda regardless of differences in nationality, ethnic background, and culture.

Peace is a basic requirement, more important than anything else. Lasting peace, the fundamental principle of the Constitution of Japan, is the wish of everyone of us and is also a common goal for all human beings.

We pledge to take every opportunity to advocate disarmament and the abolishment of nuclear weapons, and to never repeat the horrors of war. We are resolved to deal with problems which endanger peace in everyday life and to face them resolutely and patiently.

- We will tell our children, who are responsible for the next generation of the horrors of war and the importance of preventing it, along with the memories of the large-scale air raid of Tokyo.

- We will respect the human rights of all people living on the earth, fight against discrimination, and create, with much love and compassion, a community which we can be proud of.

- We will review our daily lives in order to preserve the world environment with rich water resources and greenery.

- We, as members of the global community, will develop amicable relationships with other people of the world, strengthen the mutual trust, and, with cooperation and solidarity, make efforts to enhance the well beings of mankind.

- We will reflect upon our past history and create a peaceful world for the next generation to cherish.

On the occasion of the 5<sup>th</sup> Peace Day Commemoration of Tokyo, we adopt this appeal by the consensus of all present, thereby conveying to the world the renewal of our sincere resolution to achieve peace.

March 10<sup>th</sup>, 1995